

平成22年度 第1回学校評議員・学校関係者評価委員会の実施報告

1 日時・出席者

7月15日（木）9：00～11：30に開催し、学校評議員3名、学校関係者評価委員3名、本校職員7名が出席した。

2 教育活動の観察

体育館で生徒総会、全国大会・国際大会壮行式、球技大会表彰、各種表彰披露の様子を観察した後、大会議室で学校評議員・学校関係者評価委員会を実施した。

3 学校概要説明

最初に校長から「生徒の夢を育む」を教育を推進するために、5つの本年度重点目標を立てて取り組んでいる状況について説明を行った。

その後、教務課長からコース制、習熟度別学習など個に応じた指導を実施していること、進路指導課長から昨年の進路状況、松高セミナーや補習、大学と連携して学習意欲を高める指導を計画していること、生徒課長から生徒や保護者が多様化するなか「自主自律の日」の生活指導などを通して根気強い指導を行っていることを説明した。

続いて、教頭から学校評価計画について説明し、学校評価推進委員長から学校評価総括評価表、1学期授業評価について説明した。

4 協議

(1) 学校評価について

- ・教育に数値目標を入れるのはなじまない面もあるが、教育活動の成果や課題について説明責任を果たすことが求められている。
- ・学校評価に取り組むことで、それぞれの学校が教育活動を省みて、改善に向かうことが大切である。
- ・学校評価総括評価表の具体的目標・数値目標は、学校の重点目標を具現化したものになっており、内容が精選されている。また、具体的方策は、実態に添い、それぞれの担当者が明確でわかりやすい。

(2) 教育活動の観察について

- ・生徒総会の様子を見て、生徒の態度が良く、服装や頭髪なども良いと感じた。
- ・生徒が大勢の前でしゃべるときは、内容を書いて準備することが大切である。また、書いたものを読むだけでなく、さらに自分の言葉にしてしゃべれるように指導することも大切である。
- ・部活動での輝かしい活躍は、生徒に勇気と誇りを持たせ、学校を活性化させている。
- ・ボランティア活動等を通しての「心の教育」の推進は、地域の期待や信頼に応える素晴らしい取り組みである。

(3) 学力向上について

- ・「入学した生徒をいかに伸ばして卒業させるか」と、教職員が一丸となって日々の実践を積み重ねている様子が学校評価総括表からよくわかる。
- ・生徒や保護者が多様化し、「教え育てる」ことが難しい場面もあるが、教育には強制力も必要である。生徒が「理解できた」「学力がついた」と言うように指導する努力を続けてほしい。
- ・何かのきっかけで学習に前向きに取り組む、成績がぐんぐん上がることがある。
- ・努力していることをほめ、努力が成功につながるように指導することが大切である。
- ・目的意識や学習意欲を高め、成果をあげるには、習熟度別学習などで個に応じた指導を行うことが必要である。